

付5 調査票の記入のしかた

平成25年1月改訂



労働力調査 基礎調査票の記入のしかた (2か月目の調査では、調査員が「氏名」を記入してお配りします。)

総務省統計局

労働力調査は、「統計法」という法律に基づいて行われています。「統計法」では、正確な統計を作成するために、報告の義務、調査に携わる者の守秘義務などが定められています。
秘密の保護には万全を期していますので、ありのままを記入してください。

あなたの世帯にふだん住んでいる人について、**月末現在**（ただし、12月は26日現在）で記入してください。

調 査 の 対 象	<p>ふだん住んでいる人とは、月末現在（ただし、12月は26日現在）あなたの世帯にすでに3か月以上住んでいる人、又は3か月以上にわたって住むことになっている人を行います。</p> <p>記入しなければならない人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族 ・住み込みの雇い人 ・間借り人又は同居人 <p>(注) 旅行や出稼ぎなどで一時不在の人は、不在期間が3か月以上にならない時はあなたの世帯で記入しますが、3か月以上になる時は旅行先や出稼ぎ先で調査されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院・診療所などの入院患者のうち、入院してから3か月にならない人は、あなたの世帯で記入しますが、すでに3か月以上入院している人は入院先で調査されます。 	<p>(注) 次のような場合は、それぞれ別の基礎調査票に記入してください。</p> <p>間借り又は同居している人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単身で間借りしている人や、単身で部屋代・食費などを支払って同居している人は、一人一人を別の基礎調査票に記入します。 ・家族と一緒に間借りしている場合、その家族ごとに別の基礎調査票に記入します。 <p>寄宿舎・独身寮などに住んでいる人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会社・学校などの寄宿舎・独身寮に住んでいる寄宿生・寮生は、一人一人を別の基礎調査票に記入します。
----------------------------------	--	--

調 査 の 期 日 お よ び 期 間	<p>調査月の末日（ただし、12月は26日）現在で15歳以上の人については、月末1週間（ただし、12月は20～26日）に少しでも仕事をしたかどうか、何日及び何時間仕事をしたか、どのような仕事をしたか、また、1か月間に何日仕事をしたかなど、ありのままの状態を記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ この1週間に、ふだんしている仕事をした人は、その仕事について記入してください。 ○ ふだん仕事をしていない人が、この1週間にたまたま臨時の仕事を少しでもした場合、その仕事について記入してください。 ○ ふだんは会社に勤めている人が、この1週間は勤め先を休んで、自家の農仕事を手伝った場合、その仕事について記入してください。
--	--

調 査 票 の 記 入 に あ た っ て	<p>調査票は、機械にかけますので、汚したり、丸めたり、最初に折られている以上に折ったりしないでください。 記入は黒鉛筆をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 調査票は、必ず黒鉛筆又はシャープペンシルで記入してください。インクやボールペンは使用しないでください。 ○ 書き間違えた場合は、消しゴムできれいに消してから記入しなおしてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ マークを記入する欄は、当てはまる○を●のように濃くぬりつぶしてください。 ○ 数字は、下の例のように、枠内に1文字ずつ、右づめで記入してください。 <p>《数字の記入例》</p> <div style="text-align: center;"> </div>
--	---	---

おぼえ書き欄

[この欄は、調査票の第2面⑧欄に**月末1週間**（ただし、12月は20～26日）に**仕事をした時間**を記入する時のおぼえ書き欄として適宜利用してください。]

氏名		時間								記入例		
毎日の仕事を した時間	氏名	時間	分	時間	分	時間	分	時間	分	時間	分	
	1日目	月日()	:	:	:	:	:	:	:	:	1日目	時間: 0分
	2日目	月日()	:	:	:	:	:	:	:	:	2日目	7:00
	3日目	月日()	:	:	:	:	:	:	:	:	3日目	:15
	4日目	月日()	:	:	:	:	:	:	:	:	4日目	6:00
	5日目	月日()	:	:	:	:	:	:	:	:	5日目	:0
	6日目	月日()	:	:	:	:	:	:	:	:	6日目	7:00
	7日目	月日()	:	:	:	:	:	:	:	:	7日目	7:00
1週間の合計		:	:	:	:	:	:	:	:	合計	27:15	

第2面～第4面を参考にして 調査票に記入してください

[基礎調査票 第1面の記入例]

総務省統計局 **1**

15歳以上の 人全員が記入する欄	① 氏名及び男女の別 ・ふだん住んでいる15歳以上の人を、もれなく書いてください	池山幸介 男	仕事を探していた人が記入する欄
	② 世帯主との続き柄 ・孫の配偶者は孫に、兄弟姉妹の配偶者は兄弟姉妹に含めます ・世帯主の配偶者の父母・祖父母・兄弟姉妹は、それぞれ父母・祖父母・兄弟姉妹に含めます	世帯主の妻 ○ 子孫 ○ 孫 ○ 兄弟姉妹 ○ 父 ○ 母 ○ 祖 ○ 父 ○ 母 ○ 他 ○ の ○ 親 ○ 族 ○ 他 ○	
	③ 出生の年月 ・該当する元号又は西暦に記入したうえで、年及び月を書いてください ・年を西暦で記入する場合は、西暦年の4ケタを書いてください	明治 大正 昭和 平成 西暦 : : 5 2 年 : 9 月	
	④ 配偶の関係 ・配偶者の有無は届出の有無に関係なく記入してください	未婚 ○ 配偶者あり ● 死別 ○ 離別 ○	
	⑤ 月末1週間(ただし12月は20~26日)に仕事を したかどうかの別 ・月末1週間に少しでも仕事をしたかどうかについて、記入してください ・仕事とは、収入をともなう仕事をいい、自家営業(個人経営の商店や農家など)の手伝いや内職も含めます (「基礎調査票の記入のしかた」参照)	おもに仕事をした人 ○ 仕事をしたが、収入をともなう仕事をしていない人 ○ おもに仕事をしていない人 ○ 仕事をしたが、収入をともなう仕事をしていない人 ○ おもに仕事をした人 ○ 仕事をしたが、収入をともなう仕事をしていない人 ○ おもに仕事をしていない人 ○ 仕事をしたが、収入をともなう仕事をしていない人 ○ (裏面の⑧欄へ) (記入おわり)	
	⑥ 探している仕事について ・⑤欄で「仕事を探していた」と答えた人だけ記入してください ・かたわらにしている仕事とは、通学や家事などのかたわらにする仕事をいいます	探している仕事は おもに仕事をしていない人 ○ かたわらにしている仕事 ○ おもに仕事をしていない人 ○ かたわらにしている仕事 ○	
	⑦ 仕事を探した理由 ・⑤欄で「仕事を探していた」と答えた人だけ記入してください ・勤め先や事業の都合とは、人員整理・会社倒産・事業不振などをいいます	仕事をやめた理由 勤め先や事業の都合 ○ 収入が低く生活が苦しい ○ 学校を卒業したから ○ 収入が低く生活が苦しい ○ 勤め先や事業の都合 ○ 収入が低く生活が苦しい ○ 学校を卒業したから ○ 収入が低く生活が苦しい ○ 勤め先や事業の都合 ○ 収入が低く生活が苦しい ○ 学校を卒業したから ○ 収入が低く生活が苦しい ○ (記入おわり)	

マーク欄も忘れずに記入してください。

・「おもに仕事」、「通学のかたわらに仕事」、「家事などのかたわらに仕事」又は「仕事を休んでいた」と答えた人は、基礎調査票の⑥欄~⑧欄にも記入してください。

・「仕事を探していた」と答えた人は、⑥欄と⑦欄にも記入してください。

・「通学」、「家事」又は「その他」と答えた人は、⑥欄以降に記入する必要はありません。

・「勤め先や事業の都合」とは、勤め先の会社の倒産・人員整理、勸奨退職、自分の経営している事業の不振などで、仕事をやめた場合をいいます。

・「自分や家族の都合」とは、より良い条件の仕事につくために仕事をやめた場合、結婚や育児のために仕事をやめた場合、家族が病気になるその看病のために仕事をやめた場合などをいいます。

・「学校を卒業したから」には、専修学校や各種学校を卒業した場合も含めます。

・「その他」には、上記のどれにも当てはまらない場合で、たとえば「余暇ができたから」などの理由が含まれます。

1か月目調査世帯のみ 記入してください	(1) 男女の別	51 男 女	15歳未満の人について
	(2) 世帯主との 続き柄	子孫 ○ 兄弟姉妹 ○ 父 ○ 母 ○ 祖 ○ 父 ○ 母 ○ 他 ○ の ○ 親 ○ 族 ○ 他 ○	
	(3) 出生の年月	平成 ● 西暦 ○ : : 1 7 年 : 7 月	

・1か月目調査世帯のみ記入してください。

・各欄の記入は、15歳以上の人の各該当欄の記入の仕方と同じ要領で行います。

・「(3) 出生の年月」欄はマーク欄も忘れずに記入してください。

② 世帯主との続き柄

- 父母……世帯主又はその配偶者の父母をいいます。
- 祖父母……世帯主又はその配偶者の祖父母をいいます。
- 他の親族……曾祖父母、ひまご、おじ・おば、おい・めい、いとこや親せきの子弟(それぞれの配偶者を含む。)などをいいます。
- その他……親族以外の同居人(住み込みの雇い人を含む。)などをいいます。

⑤ 月末1週間に仕事をしたかどうかの別

- 「仕事」というのは、収入(給料・賃金・手間賃・営業収益など)をともなう仕事のことです。家族の人が自家営業(個人経営の商店・工場や農家など)を手伝った場合は、無給であっても仕事をしたことになります。内職や臨時にした仕事でも、ここでいう仕事です。
- おもに仕事……おもに勤め先や自家営業などの仕事をしていました場合をいいます。
- 通学のかたわらに仕事……おもに通学していて、ほかに少しでも仕事をした場合をいいます。
- 家事などのかたわらに仕事……おもに家事などをしていて、ほかに少しでも仕事をした場合をいいます。

- 仕事を休んでいた……仕事を少しもしなかった人のうち、次の人をいいます。
 - ・雇われている人については、雇われているままで、病気や休暇などのため少しも仕事をしなかったが、原則として、給料・賃金をもらうことになっている場合をいいます。なお、職場の就業規則などで定められている育児(介護)休業期間中の人も、職場から給料・賃金をもらうことになっている場合は「仕事を休んでいた」とします。(雇用保険法に基づく育児休業基本給付金や介護休業給付金をもらうことになっている場合を含みます。)
 - ・自営業主については、自分で経営する事業をもったままで、病気や休暇などのため少しも仕事をしなかったが、仕事を休みはじめてから30日にならない場合をいいます。
- 仕事を探していた……仕事を少しもしなかった人のうち仕事がなく、仕事の紹介を人に依頼したり、公共職業安定所に申し込んだり、新聞の求人広告に応募したりしている場合、又は事業を始めるための資金、資材、設備などの調達をしている場合をいいます。また、以前に求職活動をして、その結果を待っている場合も含みます。ただし、仕事があった場合、その仕事にすぐつくことができる場合に限りです。
- 通学……少しも仕事をしないで、おもに通学していた場合をいいます。
- 家事……少しも仕事をしないで、自分の家でおもに炊事や育児などの家事をしていた場合をいいます。
- その他(高齢者など)……上記のどれにも当てはまらない場合をいいます。

「勤め先・業主などの名称」, 「事業の内容」 及び 「仕事の内容」 の書き方

〔勤め先・業主などの名称〕

- 勤め先が本社や本店とは別のところにある工場・支店などの場合は、その工場・支店などの名称まで書いてください。
- 官公庁に勤めている人は、所属する部課名まで書いてください。
- 公共職業安定所（ハローワーク）や民間の職業紹介所などを通して仕事をした場合でも、実際に雇われている事業所の名称を書いてください。

〔事業の内容〕

- 勤め先が支店・出張所・営業所などの場合は、その支店・出張所・営業所などで行っている事業の内容を書いてください。
- おもな製品又は取扱商品の種類、製造か修理かの別、卸売か小売かの別がよく分かるように書いてください。単に「製造業」、「修理業」、「商業」、「販売業」などのようなおおまかな書き方をしないでください。
- 二つ以上の種類の異なった事業を営んでいる場合は、おもな事業を一つだけ書いてください。
- 官公庁で公営企業・収益事業などを行っている部局の場合は、その事業の内容が分かるように書いてください。

〔仕事の内容〕

- 二つ以上の種類の異なった仕事をしている人は、おもな仕事を一つだけ書いてください。
- 製造や修理などの技能的な仕事と販売の仕事の両方をしている人は、技能的な仕事のほうを書いてください。
(例) 靴の修理と販売……………靴の修理業の調剤と販売……………薬剤師
- 経営者で経営管理以外の仕事にも直接従事している人は、その直接従事している仕事を書いてください。
(例) 食堂の経営者で調理人……………調理病院の院長で外科の診療……………外科医師
- 労働者派遣事業所の派遣社員の場合は、派遣先で自分が実際にしている仕事を書いてください。

	農 業	林 業	漁 業	食料品製造業	衣服製造業	化学工業	金属製品製造業	生産用機械製造業	電気機械製造業
勤め先・業主などの名称	※	大山生産森林組合	※	(株)三田食品	(株)西田縫製 今井工場	(株)四国肥料 今治工場	(株)東南金属 川崎工場	(株)秋本機械	新日本電機(株) 埼玉工場
事業の内容	米	育 林 業	かつお一本釣り	水産缶詰の製造	婦 人 服 製 造	硫 安 製 造	銅合金鋳物製造	印刷機械製造	ビデオカメラ製造
仕事の内容	稲作農耕者	山林の手入れ	かつお漁師	缶詰の検査	ミシン縫製工	化学肥料製造技師	銅合金鋳物工	金属旋盤工	工場長

※農家・漁家などで、名称がとくにない場合は斜線を引いてください。

	電子部品製造業	印刷業	新聞業	情報サービス業	鉱 業	建設業	電 気 業	ガ ス 業	水 道 業
勤め先・業主などの名称	横浜電子工業(株)	(資)平野印刷	(株)東京新聞 本社	(株)日本情報 サービス	(株)大井興業	(株)沼田工務店	(株)東部電力 清水変電所	(株)大洋ガス 岩井営業所	東京都水道局 給水部配水課
事業の内容	プリント回路板製造	オフセット印刷	新聞発行業	情報処理サービス業	砂利採取業	木造建築工事	電力供給業	都市ガス供給業	上水道業
仕事の内容	プリント配線工	写真製版工	取材記者	データエントリー	砂利の採取	建築大工	変電保守員	営業事務員	総務事務員

	鉄 道 業	道路貨物運送業	不動産業	飲食店	宿 泊 業	介護事業	洗濯業	美容業	
勤め先・業主などの名称	若松電鉄戸山駅	(株)関原運送 神田営業所	(有)宮崎不動産	(有)一茶庵	あったか弁当(株)	つ た や	(有)まごころ ケアサービス	山田ランドリー	ビューティ 美容院
事業の内容	鉄 道 業	貨物自動車運送業	土地・家屋の仲介	そ ば 屋	持ち帰り弁当屋	旅 館	訪問介護業	クリーニング	美 容 院
仕事の内容	旅客係	荷物の宅配	アパートの仲介	調 理	販 売 員	客 室 係	ホームヘルパー	アイロン仕上げ	美 容 師

	旅行業	広告業	スポーツ指導	レンタル業	個人商店(卸売業・小売業)	個人経営の工場	商 事 会 社		
勤め先・業主などの名称	(株)東部観光 川部営業所	(株)秀峰堂 名古屋支社	城南スイミング クラブ	ともだち	伊 沢 商 店	山 口 屋	松浦製作所	石井モータース	(名)光商事
事業の内容	旅行の企画・販売	広告代理業	水泳教室	ビデオのレンタル	文房具卸売	豆腐製造小売	金属製おもちゃ製造	自動車修理	電気器具卸売
仕事の内容	ツアーコンダクター	パソコンオペレータ	インストラクター	レンタルビデオ受付員	*卸売店経営	豆腐の製造	金属のプレス	自動車整備士	製品仕入外交員

※経営管理だけしている店主の例

	派遣社員	警 備	事務代行	銀 行	保 險 会 社	病 院	福祉施設	学 校	研 究 所
勤め先・業主などの名称	*(株)ヤマソフト	川口総合警備	(株)日進人事 サービス	(株)栄銀行 新宿支店	(相)三矢生命 小山営業所	大久保病院	養護老人ホーム 昌蒲荘	私立青山工業 高等学校	(財)大谷研究所
事業の内容	*ゲームソフト制作	警 備 業	事務代行業	銀 行	生命保険業	病 院	老人福祉事業	高等学 校	薬化学研究所
仕事の内容	*プログラマー	ビル警備員	経理事務員	窓 口 事 務 員	保険のセールス	看 護 助 手	介 護 人	社会科教諭	薬学研究助手

※労働者派遣事業所の派遣社員は、派遣先の「名称」、「事業の内容」及び「仕事の内容」を書いてください。
なお、「勤め先における呼称」は「労働者派遣事業所の派遣社員」とします。

	郵便局 <small>(名称は省略して記入してください)</small>	組 合	弁 護 士	著 述 家	内 職	家事サービス業	公 社	官 公 庁 <small>(名称は省略して記入してください)</small>	
勤め先・業主などの名称	日本郵便(株) 新宿北郵便局	美和村 農業協同組合	永山法律事務所	※	※	※	宮城県 下水道公社	総務省統計局 総務課	福島市役所 会計課
事業の内容	郵便窓口業務	*農協協同組合(信用・販売)	弁護士事務所	著 述 業	衣服類ボタン付け内職	家 政 婦 業	下水処理場の維持管理	国 家 事 務	地 方 事 務
仕事の内容	窓 口 事 務 員	出荷伝票の整理事務員	弁 護 士	シナリオライター	洋服のボタン付け	家 政 婦	庶 務 事 務	文 書 事 務 員	物 品 出 納 事 務 員

※協同組合で、信用事業又は共済事業を行っている場合は、「信用」又は「共済」と分かるように書いてください。
また、信用事業又は共済事業のほかには事業を行っている場合は、「販売」などと、その事業についても書いてください。

※著述業・内職・家事サービス業などで、名称がとくにない場合は斜線を引いてください。



労働力調査 特定調査票の記入のしかた

(調査員が「氏名」を記入してお配りします。)

総務省統計局

労働力調査は、「統計法」という法律に基づいて行われています。「統計法」では、正確な統計を作成するために、報告の義務、調査に携わる者の守秘義務などが定められています。
秘密の保護には万全を期していますので、ありのままを記入してください。

あなたの世帯にふだん住んでいる調査月の末日（ただし、12月は26日）現在で15歳以上の
人について、**月末現在**（ただし、12月は26日現在）で記入してください。

基礎調査票から先に記入してください

基礎調査票の「⑤ 月末1週間（ただし、12月は20～26日）に仕事をしたかどうかの別」欄の回答によって、以下の欄から記入します。

「おもに仕事」、「通学のかたわらに仕事」、 「家事などのかたわらに仕事」、「仕事を休んでいた」	} A欄から
「仕事を探していた」	→ B欄から
「通学」、「家事」、「その他」	→ C欄から

ふだん住んでいる人とは、月末現在（ただし、12月は26日現在）あなたの世帯にすでに3か月以上住んでいる人、又は3か月以上にわたって住むことになっている人をいいます。

調査の対象

記入しなければならない人

- ・家族
- ・住み込みの雇い人
- ・間借り人又は同居人

(注)

- ・旅行や出稼ぎなどで一時不在の人は、不在期間が3か月以上にならない時はあなたの世帯で記入しますが、3か月以上になる時は旅行先や出稼ぎ先で調査されます。
- ・病院・療養所などの入院患者のうち、入院してから3か月にならない人は、あなたの世帯で記入しますが、すでに3か月以上入院している人は入院先で調査されます。

調査票の記入にあたって

調査票は、機械にかかけますので、汚したり、丸めたり、最初に折られている以上に折ったりしないでください。
記入は黒鉛筆でお願いします。

- 調査票は、必ず黒鉛筆又はシャープペンシルで記入してください。インクやボールペンは使用しないでください。
- 書き間違えた場合は、消しゴムできれいに消してから記入しなおしてください。

- マークを記入する欄は、当てはまる○を●のように濃くぬりつぶしてください。
- 数字は、下の例のように、枠内に1文字ずつ、右づめで記入してください。

《数字の記入例》



第2面～第4面を参考にして 調査票に記入してください

調査票の質問番号に対応する以下の解説をご覧の上、記入してください。

A欄 仕事をした人・仕事を休んでいた人について

A1 この1週間に仕事をした時間が35時間未満の人はその理由を記入してください

『基礎調査票』の⑧欄の仕事をした時間の答えが35時間未満の人が記入します。

- 勤め先や事業の都合の「その他」は、事業の経済活動と直接関係のない行事などの理由による場合をいいます。
- 出産や育児を目的として休暇を取った場合は、「出産・育児のため」に記入します。
- 介護や看護を目的として休暇を取った場合は、「介護・看護のため」に記入します。

A3 今の仕事にはいつついたのでか

- 現在の仕事について記入します。同じ企業内で配置換えや転勤によって仕事が変わった場合は、配置換えや転勤の時期ではなく、その企業に勤め始めた時期について記入します。
- 以前に現在とは別の事業を運営していた場合には、現在の事業を開始した時期について記入します。
- 該当する元号あるいは西暦に記入した上で、年及び月を書きます。

A4 どうして今の雇用形態についているのですか

この質問は『基礎調査票』の「⑩ 勤め先における呼称」の答えを「パート」、「アルバイト」、「労働者派遣事業所の派遣社員」、「契約社員」、「嘱託」、「その他」と回答した人のみが記入します。

- 今の仕事について理由として当てはまるものすべてと、そのうち、おもな理由一つを記入します。
- 「自分の都合のよい時間に働きたいから」には、勤務時間の長さだけでなく、時間帯が都合に合っている場合も含めます。
- 自分で自由に使えるお金を得たい場合などは、「その他」とします。

A5 転職などを希望していますか

- 転職などを希望しているとは、雇われている人が自分で事業を始めたいとか、勤め先を変えたいとか考えている場合や自営業主や家業を手伝っている人が、勤め人になりたいとか、商売替えをしたいと考えている場合、今の仕事のほかに別の仕事もしたいと考えている場合をいいます。
- 同じ会社のなかで勤務地、職場、仕事の種類を変えたいという場合は、転職などの希望があるとはしません。
- 「実際に仕事を探している」とは、仕事の紹介を人に依頼したり、公共職業安定所に申し込んだり、新聞の求人広告に応募したりしている場合、又は事業を始めるための資金・資材・設備などの調達をしている場合をいいます。

A6 今の仕事の前に何か仕事をしていましたか

- 前の仕事とは、現在の仕事以外で本業として行っていた仕事をいいます。したがって、同じ企業内で配置換えや転勤によって仕事が変わった場合は、ここでいう前の仕事には含めません。

B欄 仕事を探していた人について

B1 仕事を探したり開業の準備をするためにどのような方法をとっていますか

- 「公共職業安定所」(ハローワーク)には、公営の人材銀行、パートバンク(サテライト)や学生職業センターなども含めます。
- 「民間職業紹介所など」とは、有料職業紹介所、無料職業紹介所などをいいます。また、シルバー人材センターも含めます。
- 「学校」には、中学校、高等学校、短期大学、大学のほか、予備校・洋裁学校・料理学校などの各種学校や専修学校・専門学校も含めます。
- インターネットにより求職を行った場合は、その照会先について記入します。

B2 仕事を探したり開業の準備を始めてからの期間はどのくらいになりますか

- 公共職業安定所(ハローワーク)への申込み、知人への依頼などを最初に行った日からの期間について記入します。
- 前の仕事をしている間に仕事を探し始めた場合は、前の仕事をやめた時からの期間について記入します。

B3 この1か月に仕事を探したり開業の準備をしましたか

- 過去の求職活動の結果を問い合わせた場合も「仕事を探したり開業の準備をした」とします。
- 「この1か月には全くなかった」とは、過去に行った求職活動の結果を待っていて、今月中に全く求職活動をしなかった人が該当します。

B4 探したり開業の準備をしている仕事はどのような仕事ですか

- 「正規の職員・従業員」とは、勤め先で一般職員あるいは正社員などと呼ばれている人をいいます。
- 「パート」、「アルバイト」とは、就業の時間や日数に関係なく、勤め先で「パートタイマー」、「アルバイト」又はそれらに近い名称で呼ばれている人をいいます。
- 「労働者派遣事業所の派遣社員」とは、労働者派遣法に基づく労働者派遣事業所に雇用され、そこから派遣される人をいいます。労働者派遣事業所の派遣社員は、他に当てはまるものがある場合でも、「労働者派遣事業所の派遣社員」とします。
- 「内職」とは自宅で、材料の支給を受け、人を雇わず、作業所や据付機械など大がかりな固定的設備を持たないで行う仕事をいいます。

B5 仕事につけないのはどうしてですか

- 仕事につけないおもな理由一つに記入します。
- 「求人年齢と自分の年齢があわない」とは、求人先の対象年齢が自分の年齢より低い場合(又はその逆の場合)などをいいます。
- 「自分の技術や技能が求人要件に満たない」とは、求人者の要件である資格を持っていない、自分の技術・技能以上に求人の技術水準が高度である場合などをいいます。

B6 今までに仕事をしていましたか

- 「仕事」とは『基礎調査票』の⑧欄と同様に、収入を伴う仕事のことです。農家や漁家、個人経営の商店などで家業の手伝いをしていた場合は、給料の支払いがなくても仕事をしていたとします。

C欄 通学・家事・その他の人について

C1 収入になる仕事につくことを希望していますか

- 「希望している」とは、今すぐつく仕事を望んでいる場合をいいます。
ここでは、学生が将来の進路として就職を考えている場合は、「希望していない」とします。
- すでに仕事が決まっている人で、4週間以内にその仕事につくかどうかをはっきりしない人は、「5週目以降につく」とします。

C2 仕事をしたいと思っていながら 現在仕事を探していないのは どうしてですか

C1で「希望している」と答えた人が記入します。

C3 希望している仕事又は決まっている仕事は どのような仕事ですか

- 雇われてする仕事については、B4の説明を参照してください。
- 「内職」とは、自宅で、材料の支給を受け、人を雇わず、大がかりな固定的設備を持たないで行う仕事をいいます。

C4 この1年間に仕事を探したり 開業の準備をしたことがありますか

- この1年間（調査月を含め、過去1年間）に、仕事につくための活動（求職活動）をしたかどうかについて記入します。
- 求職活動とは、公共職業安定所（ハローワーク）に仕事を申し込んだり、新聞や求人情報誌の求人広告に応募したり、事業所の求人に応募したり、知人に仕事のあっせんを依頼したり、又は自分で事業を始めるための準備などをするをいいます。

C5 今仕事があれば すぐつくことができますか

- 「すぐつくことができる」とは、月末1週間（ただし、12月は20～26日）内に仕事につくことができる場合をいいます。
- C1で「すでに仕事が決まっている」と答えた人で、今すぐ仕事をしたいにもかかわらず、勤め先の都合や設備の準備などのためにやむを得ず就業日がくるのを待っている場合は、「すぐつくことができる」とします。
- すでに仕事が決まっている人で、学業、家事、旅行、趣味、病気など自分の都合ですぐつける状況にない場合は、「すぐではないが2週間以内につくことができる」、「すぐではないが2週間より後につくことができる」のいずれかとなります。

C6 今までに仕事をしていたことがありますか

- B6の説明を参照してください。

D欄 前にしていた仕事について

D1 前にしていた仕事は いつやめたのですか

- 前にしていた仕事を「過去3年以内にやめた」場合は、元号又は西暦に記入した上で、年及び月を書きます。

D2 前にしていた仕事は 勤めていたのですか 自分で事業を営んでいたのですか

- D1で「過去3年以内にやめた」と答えた人が記入します。
- B4の説明を参照してください。
- 「契約社員」とは、専門的職種に従事させることを目的に契約に基づき雇用され、雇用期間の定めのある人をいいます。
- 「嘱託」とは、労働条件や契約期間に関係なく、勤め先で「嘱託職員」又はそれに近い名称で呼ばれている人をいいます。
- 「自営業主」とは、個人経営の商店主や農業主などをいいます。
- 「自家営業の手伝い」とは、自営業主の家族で、その自営業主の営む事業を無給で手伝っている人をいいます。
- 「内職」とは、自宅で、材料の支給を受け、人を雇わず、作業所や据付機械など、大がかりな固定的設備を持たないで行う仕事をいいます。

D3 前にしていた仕事の事業の内容

D4 前にしていた仕事の内容

- 第4面の説明及び記入例を参照してください。

D5 前にしていた仕事の勤め先・業主などの企業全体の従業者数

- 本社・本店、支社・支店、営業所、工場なども含めた企業全体の従業者数（役員やパートなどを含む。）をいいます。
- 国営・公営の事業所に雇われている人は、「官公庁など」に記入します。
- 公社、事業団などの政府関係機関の場合は、「官公庁など」ではなく、それぞれの従業者数の区分に記入します。

D6 前にしていた仕事をどうしてやめたのですか

- 前の仕事をやめたおもな理由一つに記入します。
- 事業所の閉鎖や会社倒産などが原因の人員整理、勧奨退職は、「会社倒産・事業所閉鎖のため」に含めます。
- 雇用契約の期間が終了したために仕事をやめた場合は、「定年又は雇用契約の満了のため」とします。

E欄 この欄は全員の人が記入してください

E1 教育

- 「卒業」の人は、最終卒業学校（中途退学した人の場合は、その前の卒業した学校）の種類について記入します。
- ここでいう小学校、中学校、高等学校、短期大学、大学などの学校には、それぞれ入学資格や在学年数が同等で、これらの学校の卒業に相当する資格が得られるものを含めます。
- 各種学校や専修学校については、入学資格や修業年限により、それに相当する学校区分に記入します。

専修学校・各種学校		学校区分
専修学校専門課程 (専門学校)	新制の高校卒を入学資格とする修業年限4年以上のもの(注)	大学
	新制の高校卒を入学資格とする修業年限2年以上4年未満のもの	短大
専修学校高等課程 (高等専修学校)	中学卒を入学資格とする修業年限3年以上のもの	高校
	新制の高校卒を入学資格とする修業年限2年以上のもの	短大
各種学校	新制の高校卒を入学資格とする修業年限3年以上のもの	高校
	中学卒を入学資格とする修業年限3年以上のもの	高校

(注)平成18年3月までの卒業者は「短大」

- 高等学校、短期大学、大学、大学院については、定時制やこれらの学校の卒業資格が得られる通信教育による課程も含めます。
- 外国の学校については、修業年限等により、それに相当する学校の区分に記入します。

E2 この1年間のすべての仕事からの収入(税込み)は どのくらいですか

- 毎月の給料、賃金、残業手当、チップなどのほか、期末手当やボーナスなども含めたこの1年間における仕事からの収入総額（税込み）を記入します。ただし、一時的な収入である退職金は含めません。
- 自営業の場合は、売上高ではなく、営業利益（売上高から必要経費を差し引いた額）を記入します。
- この1年間に仕事を変えたり、新たに仕事についた人は、今の仕事についた時から現在までの実績をもとにして、1年間の収入額を見積もって記入します。
この場合、前の仕事からの収入は含めません。
- 年金や保険などの給付金、財産収入などは、仕事からの収入でないため含めません。

「事業の内容」及び「仕事の内容」の書き方

〔事業の内容〕

- 勤め先が支店・出張所・営業所などの場合は、その支店・出張所・営業所などで行っている事業の内容を書いてください。
- おもな製品又は取扱商品の種類、製造か修理かの別、卸売か小売かの別がよく分かるように書いてください。単に「製造業」、「修理業」、「商業」、「販売業」などのようなおおまかな書き方をしないでください。
- 二つ以上の種類の異なった事業を営んでいる場合は、おもな事業を一つだけ書いてください。
- 官公庁で公営企業・収益事業などを行っている部局の場合は、その事業の内容が分かるように書いてください。

〔仕事の内容〕

- 二つ以上の種類の異なった仕事をしている人は、おもな仕事の一つだけ書いてください。
- 製造や修理などの技能的な仕事と販売の仕事の両方をしている人は、技能的な仕事のほうを書いてください。
(例) 靴の修理と販売……………靴の修理業の調剤と販売……………薬剤師
- 経営者で経営管理以外の仕事にも直接従事している人は、その直接従事している仕事を書いてください。
(例) 食堂の経営者で調理人……………調理
病院の院長で外科の診療……………外科医師
- 労働者派遣事業所の派遣社員の場合は、派遣先で自分が実際にしている仕事を書いてください。

	農 業		林 業		漁 業		食料品製造業		衣服製造業		化学工業		金属製品製造業		生産用機械製造業		電気機械製造業	
事業の内容	米	作	育	林 業	かつお	一本づり	水産缶詰の製造	婦人服製造	硫 安 製 造	銅合金鋳物製造	印刷機械製造	ビデオカメラ製造						
仕事の内容	稲作農耕者		山林の手入れ		かつお漁師		缶詰の検査	ミシン縫製工	化学肥料製造技師	銅合金鋳物工	金属旋盤工	工場長						

	電子部品製造業		印刷業		新聞業		情報サービス業		鉱 業		建設業		電 気 業		ガ ス 業		水 道 業	
事業の内容	プリント回路板製造	オフセット印刷	新聞発行業	情報処理サービス業	砂利採取業	木造建築工事	電力供給業	都市ガス供給業	上水道業									
仕事の内容	プリント配線工	写真製版工	取材記者	データエントリー	砂利の採取	建築大工	変電保守員	営業事務員	総務事務員									

	鉄 道 業		道路貨物運送業		不動産業		飲食店		宿 泊 業		介護事業		洗濯業		美容業	
事業の内容	鉄 道 業	貨物自動車運送業	土地・家屋の仲介	そば屋	持ち帰り弁当屋	旅 館	訪問介護業	クリーニング	美容院							
仕事の内容	旅客係	荷物の宅配	アパートの仲介	調理	販売員	客室係	ホームヘルパー	アイロン仕上げ	美容師							

	旅 行 業		広 告 業		スポーツ指導		レンタル業		個人商店(卸売業・小売業)		個人経営の工場		商 事 会 社	
事業の内容	旅行の企画・販売	広告代理業	水泳教室	ビデオのレンタル	文房具卸売	豆腐製造小売	金属製おもちゃ製造	自動車修理	電気器具卸売					
仕事の内容	ツアーコンダクター	パソコンオペレータ	インストラクター	レンタルビデオ受付員	*卸売店経営	豆腐の製造	金属のプレス	自動車整備士	製品仕入外交員					

*経営管理だけしている店主の例

	派遣社員		警 備		事務代行		銀 行		保 險 会 社		病 院		福 祉 施 設		学 校		研 究 所	
事業の内容	*ゲーム用ソフトウェア作成業	警 備 業	事務代行業	銀 行	生命保険業	病 院	老人福祉事業	高等学校	薬化学研究所									
仕事の内容	*プログラマー	ビル警備員	経理事務員	窓口事務員	保険のセールス	看護助手	介護人	社会科教諭	薬学研究助手									

*労働者派遣事業所の派遣社員は、派遣先の「事業の内容」及び「仕事の内容」を書いてください。
なお、「D-2 前にしていた仕事は、勤めていたのですか、自分で事業を経営していたのですか」は「労働者派遣事業所の派遣社員」とします。

	郵 便 局		組 合		弁 護 士		著 述 家		内 職		家事サービス業		公 社		官 公 庁	
事業の内容	郵便窓口業務	*農業協同組合(信用・販売)	弁護士事務所	著 述 業	衣服ボタン付け内職	家政婦業	下水処理場の維持管理	国家事務	地方事務							
仕事の内容	窓口事務員	出荷伝票の整理事務員	弁 護 士	シナリオライター	洋服のボタン付け	家政婦	庶務事務	文書事務員	物品出納事務員							

*協同組合で、信用事業又は共済事業を行っている場合は、「信用」又は「共済」と分かるように書いてください。
また、信用事業又は共済事業のほかに事業を行っている場合は、「販売」などと、その事業についても書いてください。